

# 中間ふりかえりチェックリスト一覧表

事業の名称	みえ市民活動ボランティアセンター運営委員会				
所属組織名称	運営委員会世話人代表	運営委員会世話人代表	運営委員会世話人代表	三重県生活部NPO室	みえ市民活動ボランティアセンター
記入者氏名	吉島隆子	井田輝門	岡嶋多華夫	明石須美子	安村富子
記入者年月日	2006年1月12日	2006年1月6日	2006年1月13日	2006年1月12日	2006年1月13日
視点1 事業実施前に話し合いが十分になされていましたか。					
視点1-1 ニーズの把握	?	はい	いいえ	はい	はい
視点1-2 共有	はい	はい	いいえ	はい	はい
視点1コメント	年に一回程度しか開催されないため、十分な話し合いとまでいかない	—	細かいことは現場常勤の市民プロにお任せする、という話し合いで合意されている。スペースの位置づけ、利用ルールの大幅な変更や、例外については毎年の運営委員会で方向性を決めています。	センター設立当初から運営の方法について、オープンの中で話し合いがなされ、目的が共有されていると聞いています。	センターオープンにあたり、市民と行政の設立準備会が何度も開催されたことを踏まえて回答した。
視点2 事業の目的や事業に関わる意義を確認していますか。					
視点2-1 事業の公共性と行政関与の妥当性					
○ 不特定多数の利益となるか	はい	はい	はい	はい	はい
○ 地域社会の解決や社会変革に役立つか	?	はい	はい	はい	はい
○ 事業内容、取り組みを対象地域で調査済みか	?	?	?	?	はい
視点2-2 協働の妥当性	はい	はい	はい	はい	はい
視点2コメント	基本的に過去からの経緯、歴史をふまえて、その時代に、時代に求められることをめざして協働で運営がなされている	—	—	利用者がオープンに運営に参加することで広く不特定多数の利益につながるものと考えます。利用者からの課題を直接受け取ることができ、課題解決の近道となります。同じ取り組みが他で行われているかの調査をしたということは聞いていませんが、先駆的な取り組みであったと聞いています。市民のためのセンター運営を市民と協働で行なうことは妥当であり、最も適切な方法と考えます。	—
視点3 それぞれの役割が明確に整理されていますか。〔「新しい時代の公」では、行政と民間が公共領域を担いあうことが示されていますが、話し合いの場で次のことを話し合って役割などを明確にしていますか。〕					
○ 役割分担	?	?	はい	はい	はい
○ 責任分担	?	?	いいえ	?	はい
○ 情報共有	はい	?	はい	はい	はい
○ 問題発生時の対策	はい	いいえ	はい	いいえ	はい
視点3コメント	運営委員会の意思を代表して日常の対応は市民プロデューサーが行っている。市民、市民プロデューサー、行政から成る運営委員会はお互いの信頼関係で成り立っている	—	責任分担:「運営委員会の予算」の位置づけがわかりにくい 情報共有:運営委員会開催の時のみだが、情報共有している	話し合いの中で確認されると思いますが、明文化されていないため年月とともに風化し、最近では前年に習って事務をこなしているように感じています。	—

# 中間ふりかえりチェックリスト一覧表

事業の名称					
みえ市民活動ボランティアセンター運営委員会					
事業の名称					
所属組織名称	運営委員会世話人代表	運営委員会世話人代表	運営委員会世話人代表	三重県生活部NPO室	みえ市民活動ボランティアセンター
記入者氏名	吉島隆子	井田輝門	岡嶋多華夫	明石須美子	安村富子
記入者年月日	2006年1月12日	2006年1月6日	2006年1月13日	2006年1月12日	2006年1月13日
<b>視点4 事業を計画的に進めていますか。(事業を進めていく計画に、次のような内容を反映していますか。)</b>					
○ 事業の目的	?	?	はい	いいえ	はい
○ 地域ビジョンと方向性	?	?	はい	いいえ	はい
○ 実施計画と収支計画	はい	?	はい	いいえ	はい
○ 実費の分担と予算管理	?	?	はい	いいえ	?
○ スケジュール管理、推捗状況	いいえ	?	はい	いいえ	?
○ 事業の推捗を客観的に判断する成果指標	いいえ	?	いいえ	いいえ	?
○ 成果物の帰属	?	?	はい	いいえ	はい
○ 事業の完了時期	?	?	いいえ	いいえ	?
○ 方向性の共有	?	?	いいえ	いいえ	?
視点4コメント	運営委員会開催は年度途中で、しかも随時あるわけではないため、計画はされても即応性に欠ける	—	目的や使命は共有できている。これらの行方(県営か指定管理運営か)はまだ話し合われていない。	計画を作成していないので、単年度の事業計画・収支予算と中長期の計画策定の必要を感じます。	—
<b>視点5 参加・参画の体制づくりは進んでいますか。</b>					
視点5-1 当事者性	はい	いいえ	はい	はい	はい
視点5-2 対話(コミュニケーション)	はい	?	はい	はい	はい
視点5-3 意思決定	はい	?	はい	はい	はい
視点5-4 事業実施体制 ○ 役割分担	はい	?	はい	はい	はい
○ 責任分担	?	?	はい	?	はい
○ 情報共有	はい	?	はい	はい	はい
○ 問題発生時の体制	はい	いいえ	はい	?	はい
視点5コメント	—	—	—	話し合った役割を定期的に検証することも必要だと思います。また、市民が運営に参加しやすいようにPR方法など工夫する必要があります。	—
<b>視点6 事業企画段階で欠けていた視点や今後必要とされる仕組み、制度等はなんでしょうか。</b>					
視点6コメント	—	情報共有の方法	県営プラス協働運営ゆえに、団体としての独立事業がしづらい。市民プロデューサー個々の関心事から発生した個人サイズの事業しか出来ない。それはおそらく、①使えるお金の額がわからない、②収入事業が出来ないため、県所有なので仕方ない。このセンターに独自事業は必要ないのであれば、あきらめます。市民プロサイズで頑張るしかないですね。	三重県民交流センターは市民活動のために設置された公の施設ですが、会計規則に縛られた運営で多様化するニーズに応えるのは限界があります。民間の視点で利用者の立場に立った柔軟な運営を行うためにも指定管理者制度の導入を前提にした調査・研究を行なうことが急務であると感じます。	5年前のセンター設立時のメンバーは二人だけとなり、センター準備委員会を知る囁託員は一名のみ。県設備を使用した印刷などの利用代金を運営委員会の収益にすることの是非が今問われている。当初の市民活動サポートという役割から協働へと変化している現状では新たな視点や仕組みも必要になってきている。